

Interview 01 -両親-

三浦 勝則さん =下浮島=
寿美恵さん =同=

生誠は兄姉の背中を見て高校から自転車競技を始め、部室に最後まで残るような努力を惜しまない子でした。大学時代にパラ競技、そして木村和平選手と出会いました。転倒というトラウマを乗り越え、生誠を待っていてくれた木村選手と二人三脚で「パラ五輪出場」という夢をつかみ、嬉しく思います。

大会では、一筋縄では行かないと思いますが、木村選手と以心伝心の一体感でこれまでのベストより、良いタイムを出せるように頑張ってください。



Interview 02 -高校時代の指導者-

鎌田 大樹さん (現 紫波総合高)

生誠さんは、入学した時から瞬発力がすごかったことを覚えています。すぐくまじめで、大会に向けてのモチベーションの高め方も高校時代から上手でした。

思い出もたくさんあり、放課後に紫波まで通って練習したことや、入学してすぐ買ってあげたロードレーサーを1ヵ月で壊されたこと、最後のインターハイで海に入ることを我慢させたことなど。

日本大学に進学して、ワットモンスターと呼ばれるほどに成長した生誠さん。木村和平選手と力を合わせて、頑張ってください。応援しています。



Interview 03 -同級生-

丹内 裕徳さん =中田= (左)
今松 琉亜さん =嶋沢= (中央)
松原 俊樹さん =一方井= (右)

パラ五輪代表内定おめでとうございます。(一同)
Xでいつも活躍を見ている。木村選手とメダルを目指して頑張ってください。(丹内)

“自分”を持っていて、考えて行動する性格でした。競輪ごっこをよくしていたのを覚えています。大会ではベストを尽くして頑張ってください！(今松)

パラ五輪に出るからには、ぜひメダルを勝ち取って、町に帰ってきてください！(松原)



パリ 2024 パラ五輪 自転車競技 競技パートナーとして代表内定

三浦

生誠

|| 一方井中出身 ||



【経歴】

一方井中を卒業後、盛岡農高へ進学。高校から本格的に自転車競技に取り組み、3年時の茨城国体少年男子ケイリンで8位入賞。大学は日本大(東京都)へ進み、今春から日本競輪選手養成所に入所。パラ競技への参入は、大学1年時に指導者から誘われたのがきっかけ。ペアを組む木村和平選手と2023年アジア選手権1*。タイムトライアル(視覚障害B)、4*。個人パシュート(同)、タンデムスプリント(同)を制して3冠に輝く。同年、全日本選手権では1*。タイムトライアル日本記録を樹立した。県事業のいわてスーパーキッズ出身。



写真提供：一般社団法人日本パラサイクリング連盟
自転車前方が三浦生誠さん(右)、後方がペアの木村和平選手(左)

写真提供：一般社団法人日本パラサイクリング連盟

パリ2024パラ五輪の日本選手団が7月4日に発表され、自転車競技の競技パートナーとして三浦生誠さん=一方井中出身=が選ばれました。三浦さんは初めてのパラ五輪代表入りです。2人乗り自転車の前方で、視覚障害のある後方選手を支えるパイロットを担います。

同パラ五輪自転車競技はフランス・パリのヴェロドローム-ド-サン-カンタン-アン-イヴリーヌで8月29日(木)から熱戦が繰り広げられます。